



# とべだより

令和3年5月31日

6月号

横浜市立戸部小学校

学校教育目標： それぞれが飛べ みんなで翔べ ゆめいっぱい戸部

子どもたちのたくましさと思いやりの心

学校長 保科 優子



まん延防止等重点措置が横浜市に出されていること、晴れると暑く、外でマスクをし続けていることが困難なことなどを考え、今年度も全校遠足を中止しました。高学年の児童、特に「ハピ☆スマ委員会」の児童が中心となり、縦割りのグループが仲良くなるよう色々と考えてくれたので、中止にするのは本当に辛かったです。

けれども、ただ「残念だったね」で終わらないのが戸部小の子どもたちです。「ハピ☆スマ委員会」の児童は、全校遠足でなくても「縦割りグループが仲良くなる」ためにできることを考えようと、校内ラリーを企画してくれました。書かれたヒントを頼りにどこの特別教室のことなのかを縦割りグループで考え、その教室に行くというゲームです。正しく教室に行き、そこに置かれているパーツを集めて組み合わせると、とべピーができるという仕掛けになっています。どのグループも一生懸命考え特別教室を回っていました。

この校内ラリーは、みんなが一斉にやると密になってしまうため、一日に行えるのは5グループ程度。そのため、全部のグループが終わるのに2週間かかりました。その間、どの教室も、ゲームの内容を知っている児童と、まだ知らない児童が混在します。終わった子どもたちは、まだやっていない友達に教えてしまうとその人たちが楽しめないと相手を思いやり、ゲームの内容を言いません。「ハピ☆スマ委員会」の児童が一生懸命考え準備してくれたことや、縦割りグループが仲良くなるためにやっていることを理解し、それぞれが相手を思いやり行動していました。みんなが少しずつ相手を思いやる気持ちをもって行動できたため、校内ラリーは大成功でした。

4年生の体験学習も日帰りとなってしまいましたが、子どもたちはできないことを嘆くのではなく、その中でできることを精一杯考え、思いっきり楽しむことができました。学校に戻ってきたときの顔はみんなとても満足気でした。

まだまだ、コロナの終息が見られず、教育活動は一つ一つ検討しながら進めていく状況は続きます。けれども、戸部小の子どもたちは、簡単にはあきらめないたくましさ、相手のことを思いやる心をそうした状況の中からも育んでいます。大人も負けてはいられません。子どもたちと一緒にこれからも考え行動していきます。6月もどうぞよろしくお願いいたします。